

演題『いつでもスタートライン』

講師 今井 紀明 氏 《特定非営利活動(NPO)法人 DXP 代表》

《講師:今井紀明氏プロフィール》

1985年札幌生まれ。立命館アジア太平洋大学(APU)卒。高校生のとき、当時、紛争地域だったイラクへ渡航。その際、現地の武装勢力に人質として拘束され、帰国後「自己責任」の言葉のもと、日本社会から大きなバッシングを受ける。結果、対人恐怖症になるも、友人らに支えられ復帰。親や先生から否定された経験を持つ生徒たちと自身のバッシングされた経験が重なり、「ひとりひとりの若者が自分の未来に希望を持てる社会」を目指して行動している。



今回は、さまざまな困難を乗り越えて、自分らしい生き方を開拓している人と会うことで、生徒たちに将来への「生きる力」(意欲)と自律的に自分の人生を歩んでいける力を持たせたいとの趣旨で実施しました。

【附記】

今回の講演は、キャリア発達を促すために必要な外部からの働きかけとして、幾多の困難を乗り越えてこられた今井氏に依頼しました。かつて対人恐怖症にかかり引きこもった経験をされておられ、当時の体験談やその後どのように立ち直られ、現在に至っておられるのかを話していただきました。



講演後半は、生徒は、質問用紙に自分の持つ将来に対する不安や悩みを打ち明け、そして、その生徒個々の悩みに対して時間の許すかぎりお答えくださいました。それぞれ育った環境の違う者同士が学校という現場で学習しているので、お互いを「否定しない」ことが大切だと訓示いただきました。今後も、生徒個々が、人との関わりの中で、互いを認め合える人間関係や学校風土を作っていきたいと考えています。